

目 次

第1章 背景・経緯と計画の位置づけ	1
第2章 対象地域の現況と課題	
1. 対象地域	3
2. 自然環境の現況と課題	
(1) 自然環境の特性	
1) 地形・気象	6
2) 植生	6
3) 生物相	10
4) ニホンジカ	11
(2) これまでの森林衰退の経緯	13
(3) 森林の更新に関する問題点	17
(4) 森林の衰退に伴う野生動物の生息環境の変化	37
(5) 保全上注目すべき種の現状と課題	38
(6) 利用による自然環境への影響	
1) ドライブウェイ・歩道周辺の植物への影響	39
2) ドライブウェイ・歩道周辺の土壤動物群集への影響	41
3) 人の集中が鳥類に与える影響	42
3. 利用の現況と課題	
(1) 利用の歴史的経緯	43
(2) 利用に係る立地条件等	45
(3) 利用の現況	
1) 車両の入込状況	46
2) 利用の特性	49
3) ピーク時の利用状況と課題	50
4) 利用適正化に対する利用者の意識	55
第3章 これまでの対策等の評価分析	
1. 既存事業の整理	57
2. 各種対策の評価分析	
(1) 防鹿柵	65
(2) ラス巻きつけ	67

(3) 播種、植栽	68
(4) 立ち入り防止ロープ・木道	69
 第4章 自然再生の基本的な考え方	
第5章 自然再生の目標	71
 第6章 自然再生推進計画の内容	
1. 森林生態系保全再生計画	
(1) 計画対象地域	
1) 位置	73
2) 面積及び土地所有関係	73
3) 権利制限関係	73
4) 土地利用等の現況	73
(2) 目的	75
(3) 基本方針	75
(4) 内容	
1) 再生ポテンシャルの評価	75
2) 再生ポテンシャル別の対応方針	77
3) 実証実験の手法の設定根拠	78
4) 実験区の設定	79
5) 植生タイプ別の保全再生手法の内容	82
(5) 計画期間	85
(6) 多様な主体の参画	85
2. ニホンジカ保護管理計画	
(1) 目的	86
(2) 基本方針	86
(3) 区域保護対策（防鹿柵）	
1) 地域	89
2) 方法	89
(4) 単木保護対策（ラス（金網の一種）巻き付け）	
1) 地域	91
2) 方法	91
(5) ニホンジカ個体数調整	
1) 地域	92
2) 方法	92

3) 体制	94
4) 捕獲個体の取り扱い	94
(6) 計画期間	94
3. 新しい利用のあり方推進計画	
(1) 目的	95
(2) 基本方針	95
(3) 計画内容	
1) マイカー規制の実施－パーク＆シャトルバスライド	98
2) より良好な森林地域の保全の強化－利用調整地区の設定－ ..	103
3) 総合的な利用メニューの充実	
－特に利用の質の改善のための条件整備－	105
第7章 モニタリング	115
1. 森林生態系の保全・再生に関するモニタリング	
(1) 森林生態系保全再生計画実証実験の効果確認調査	116
(2) 植生に関する調査	
1) 再生ポテンシャルに関する基礎的調査	116
2) 植生モニタリング調査	116
3) 植物相調査	117
4) ニホンジカによる植生への影響調査	117
(3) 野生動物に関する調査	
1) 植生タイプ別調査	117
2) 地域特性把握調査	117
(4) ニホンジカの生息密度に関する調査	118
2. 利用状況に関するモニタリング	
1) 利用実態調査	118
2) 利用者意向把握調査	118
3) 利用による自然環境への影響調査	118
3. 多様な主体の参画へ向けて	119
第8章 スケジュール	120
参考文献	121

添付資料 1	検討会等構成・開催経緯	1
添付資料 2	植物の確認種	4
添付資料 3	哺乳類の確認種	17
添付資料 4	鳥類の確認種	19
添付資料 5	爬虫類の確認種	22
添付資料 6	両生類の確認種	22